

ダイワ通信、初の配当実施へ 24年3月期最終増益で

2024/5/14 19:30 | 日本経済新聞 電子版



決算記者会見に臨む岩本秀成社長（14日、金沢市）

ダイワ通信は14日、2024年3月期の年間配当を10円とすると発表した。同社が配当を実施するのは初めて。24年3月期に最終増益を確保したことを受け、株主還元を強化する。防犯意識の高まりや大手警備会社との連携強化を背景に、防犯カメラの需要が高まった。

24年3月期の連結決算は売上高が前の期比7%増の51億円、純利益が同6%増の2億5700万円だった。研究開発費や人材確保に向けた給与のベースアップなど人件費がかさんだものの、白山市に出店した無人店舗への助成金収入などを背景に最終増益を確保した。

同日発表した2025年3月期の連結業績予想は、売上高が前期比5%増の54億円、純利益が微増の2億5800万円。岩本秀成社長は14日の決算記者会見で「為替リスクは依然大きい。物価の上昇分については価格転嫁などで対応していく」と述べた。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.